

令和6年度 第3期下野市地域福祉計画推進委員会 議事録

審議会等名 令和6年度 第3期下野市地域福祉計画推進委員会
日 時 令和6年7月29日(月) 午後1時30分から
会 場 下野市庁舎 303・304会議室
出席者 林委員長、川俣副委員長、小室委員、渡辺委員、粥見委員、鱒淵委員、吉田委員、海老原委員、布袋田委員、梶井委員、國元委員、山口委員、齋藤委員
欠席者 佐藤委員、石嶋委員、小倉委員、大古委員
事務局 下野市：川嶋社会福祉課長、植野主幹、深澤主事、朝川相談支援包括化推進員
社会福祉協議会：小林事務局次長兼地域福祉課長、桑島主幹、若林主査

公開・非公開の別 (公開 一部公開 非公開)

傍聴者 1人

報道機関 0人

議事録(概要) 作成年月日 令和6年8月13日

1. 開会

(事務局) 令和6年度 第3期下野市地域福祉計画推進委員会を開会いたします。
本日の会議は、下野市審議会等の設置及び運営等に関する要綱第10条に基づき公開いたします。傍聴人は1名となっております。

2. 自己紹介

(事務局) 名簿順に自己紹介をお願いいたします。
(委員・事務局一同) **【名簿順に自己紹介】**

3. 協議事項

(事務局) それでは、要綱第6条に基づき、ここからの進行は林委員長をお願いいたします。
(林委員長) 議題に入る前に、議事録署名人を選出いたします。今回は名簿3番の小室委員と、4番の渡辺委員をお願いいたします。
(1) 第3期下野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の進捗状況と今後の取り組みの検討について
(事務局) **【市から、資料1、追加資料1、3に基づき説明。続けて、社会福祉協議会から、資料2、追加資料2に基づき説明】**
(林委員長) 事務局からの説明に対し、ご意見・ご質問などありますか。
社会福祉協議会での就労継続支援B型の新たなサービスとは？
(事務局) 来年度に向けて、生活介護サービスの提供を考えています。
(林委員長) 児童の相談支援については、取り扱ってはないということでしょうか。
(事務局) 児童としての件数は今のところはありませんが、受け入れはしています。
(林委員長) 障がい児としての相談は受けていないということよろしいでしょうか。

また、児童の相談数・ケース数は多いとありますが、社会福祉協議会の特定相談を利用することがないということでしょうか。

(事務局) そうです。

(林委員長) 今年は中間年です。計画の中でもう少しこういったことがあれば、こういうことをしたらどうか等のご意見はありませんか？

(林委員長) 地域災害対策への支援の推進について、避難行動支援者名簿への登録者数が減少しています。

目標値は、5,000人、計画当初の現状値4,600人であったが、令和5年度では4,456人と減少していますが、対応方法はありますか。

要介護高齢者が減少しているわけではないのでしょうか。

(事務局) 社会福祉課及び高齢福祉課が担当しておりますので、担当にお伝えします。

(粥見委員) 避難行動支援者の対象基準が「65歳以上の高齢者は要介護3以上」に変更になりました。変更に伴い、避難行動支援対象者が減少しています。また、民生委員からは狭間の方で支援が必要な人もおり、どうやって支援をしていくか等の対応に迷っているという話も聞いています。

(齋藤) 地域名簿に記載されている家庭を訪問していますが、名簿に掲載されていない方で心配な方もいます。

見回りの時や地域の関係者の方からの情報を基に、今年度1件名簿に追加しました。

(林委員長) 狭間ということで要介護3ではないが支援が必要な方がいるという現状があります。避難行動支援者の記載基準が変更になった理由として、国の指針が変わったのでしょうか。

(川嶋課長) 以前は避難行動支援者の対象は、市町村ごとで異なっており、対象世帯を限定した経緯があります。これまで通り要支援者名簿に掲載したいと希望される方は、民生委員の協力を得ながら掲載しています。また、対象者は、希望する方を記載します。個人情報の観点から、掲載希望のない方も増加していますが、市としては、名簿の記載者を増やし、支援の範囲を広げたいと考えています。

(齋藤委員) 民生委員の立場として、1人の民生委員では現実的に手いっぱいになっていて限界を感じています。

(林委員長) 民生委員は手いっぱいな状況にあるとのことですが、下野市では自治会長は名簿管理していないのでしょうか？

(川嶋課長) 現時点では、民生委員に限定しております。本市では、個人情報保護の観点から自治会長に開示はしていません。自治会ではいかがでしょうか？

(川俣副委員長) 「行政は教えてくれない」という思いがあります。自治会では、民生委員から情報をもらえない、その中で何が自治会としてできるのかということは話し合いのテーマにもなっています。

名簿についても行政に質問したが個人情報ということで開示はしてもらえない状況です。

(川嶋課長) 市としては自治会長の協力を得られたらありがたいと感じています。

自治会長の仕事内容が増えることや今までのやり方や個人情報のこともあるため、慎重

に対応していきたいと思えます。

(林委員長) 障がい者・高齢者の方が周りの人に自分のことを伝えられるような地域であれば、地域で支援が必要な方を把握する仕組みができる。個人情報による規制や、記載の有無だけではなく、地域にアプローチし、目をかけ声をかけ手をかけてくれるような地域づくりが必要です。要支援者名簿は災害発生数日後に確認のため使われると思われるが、日頃より地域住民の関係性があれば早急に対応することができるため、地域の中で対策を考えていく必要があります。

(川俣副委員長) 8頁の多職種研修の実施について、指標は「多職種研修会の延べ参加者数(5か年累計)」としているが、実績は単年で記載してあるため、わかりにくい。
今後の計画では標記について検討していただきたい。

(林委員長) 自殺対策の推進では、指標が「自殺者数(5か年累計)」としており、実績がR3年7人、R4年7人、R5年7人となっています。
しかし、目標値0人としており、5年前に0人ではない限り、目標達成はできないことになる。累計と目標値の関係性を明確にし、記載するのはどうでしょうか。

(事務局) ご意見を踏まえ、累計または単年度の数値のいずれかを適切に明記していきたいと思えます。

(林委員長) 指標に関しては、次年度の推進委員会の評価の際に検討いただけたらと思えます。

(2) その他

(林委員長) 重層的支援体制整備事業について事務局よりご説明いただけたらと思えます。

(事務局) 【市から、追加資料3に基づき説明】

(林委員長) 重層的支援体制整備事業では、断らない相談支援として相談窓口を一本化するだけではなく、地域をつくる仕組みを担っています。そのため、今年度から市が主催して地域食堂を行う等の様々な取り組みをしています。重層的支援体制整備事業により、地域福祉計画の「地域共生社会に向けた取組」がより明確になりました。ここで、福祉まるごと相談窓口の相談事例をもう少し詳しく教えていただけますか。

(事務局) 【事例を説明】

(林委員長) 地域の潜在的なニーズにアウトリーチで積極的に接近し、属性を問わず断らない相談窓口の開設により、地域のあらゆる問題を抱えている人に対して支援していきます。
また、重層的支援体制事業の「参加支援」や「地域づくり」として地域の農家・業者等地域全体と関わる必要があります。地域福祉計画推進委員の皆様には、地域参加・地域づくりに地域住民がどのように関わるができるのかについて関心を持っていただきたいと思えます。重層的支援体制整備事業についてご質問やご意見はありますか。他の市町村では行政がまちづくりの一環として地域(こども)食堂を行うことはありますか。

(事務局) 行政が実施することは、ほとんどないと思えます。主に、民間や地域の有志の方が行っています。本市では、地域(こども)食堂等をやりたいと考えているが、手を上げることをためらわれているのではと感じています。そのため、行政がきっかけづくりとして地域食堂等を開催し後押しができたらと考えております。また、寺子屋下野教室につい

ては一般社団法人栃木県若年者支援機構に委託して実施しております。学習支援をしながら「第3の居場所」になればという思いで開催しています。

(林委員長) このような取組が地域の中で根付いていくためにも地域福祉計画推進委員の方々からご理解をいただきまして進めていけたらと思います。

(山口委員) 福祉まるごと相談窓口の広報の方法や、相談ルートを教えてください。

(事務局) 広報誌、各関係機関に紹介、市民活動センター、民生委員の定例会、SNS、ホームページ、FM ゆうがお、とちぎケーブルテレビ、小山地区医師会、小山地区歯科医師会等に広報しております。また、実際に相談されるケースとしては、民生委員、ご近所の方のご紹介が多くなっております。地域包括支援センターや、障がい児者相談支援センターからの紹介もあり、常に連携しております。

4. その他

(事務局) まだまだ支援を必要としている方に福祉まるごと相談窓口が十分に周知されていないと感じています。今後も地域福祉計画推進委員の方々からご案内していただけますと幸いです。来年度の会議は、7月頃の開催を予定しております。引き続きご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。林委員長に置かれましては、最後の委員となります。7年に渡りご指導いただきました。心よりお礼申し上げます。

(事務局) 後任の方につきましては、改めて協議させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

5. 閉会

(事務局) 以上で、令和6年度 第3期下野市地域福祉計画推進委員会を閉会いたします。

議事署名人 小 峯 正 男

議事署名人 渡 辺 正 巳